開校50周年　校訓：明るく・仲よく・たくましく　「あ・な・た」を大切にする心のふるさとパリ日　depuis 1973

日仏文化学院

パリ日本人学校

令和5年度学校だより（最終号）　第16号　令和6年3月15日発行　　パリ日本人学校　校長　伊藤　博

第51回卒業証書授与式挙行　～はばたけ40名の卒業生！～

3月8日、第51回卒業証書授与式が、駐フランス日本国特命全権大使、本校理事長をはじめ、多くのご来賓、保護者の皆様のご臨席の下、無事に終了しました。

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。卒業生の、今後ますますのご活躍とのご成長を、心からお祈りしております。小学部28名、中学部12名の卒業生は、立派に卒業していきました。最後の「旅立ちの日に」の合唱は、総勢40名による圧巻の歌声でした。後に続く後輩たちに、あるべき手本を見せてくれました。在校生も長時間にもかかわらず、呼びかけや合唱を通じて、お世話になったお兄さんお姉さんたちを、心をこめて送り出しました。校長からは、式辞の中で、はなむけの言葉として、この7月から日本の一万円札の肖像になる、渋沢栄一が残した「夢七訓」の言葉を贈りました。

夢なき者は理想なし　理想なき者は信念なし　信念なき者は計画なし　計画なき者は実行なし
実行なき者は成果なし　成果なき者は幸福なし　ゆえに幸福を求むる者は夢なかるべからず

簡単に言うと、「幸福を得たい人は、まず『夢』を持ちなさい。」という意味です。入学式や始業式、終業式などを通じて語ってきた、「立志・挑戦・感動」という言葉と併せて、心に留めていただけると嬉しいです。

卒業生からは、「卒業記念品」として、図書室用の図書を寄贈していただきました。書籍が届きましたら、コーナーを設けて紹介したいと思います。ありがとうございました。学校からは「卒業祝い品」として、個人の名前入り特製万年筆を贈りました。パリ日の思い出に、大切にしていただけると嬉しいです。

令和5年度 修了式が行われました！

《校長の式辞から》

（概要）本日、令和５年度が終わります。皆さんの中には4月からもパリ日に通う人や、日本に帰国して他の学校に通う人もいますが、全員がパリ日の「絆」で結ばれています。この「絆」をこれからも大切にしていきましょう。今日でパリ日をさよならする皆さん、私からは「夢」と「挑戦」という言葉を贈ります。卒業式でも話した渋沢栄一は、「幸せな人生を送るためには、『夢』を持つことが必要だ」と述べています。でも、「夢」は単に描いているだけでは叶いません。「夢」に向かい、「挑戦」することが大切です。上の学年に進級したり、新しい学校に変わったりする時は、「挑戦」したいという気持ちが大きくふくらみます。「夢」そして「挑戦」、ぜひ、心に留めておいてください。では、この１年間の皆さんのがんばりに心から拍手を送り、校長の言葉を終わります。

《代表の言葉から》

【小学部代表】 2年１組 MM

二年生の１学きから3学きにせいちょうしたことがたくさんあります。

一つ目は、かん字を書けるようになったことです。とくに通るというかん字がスラスラ書けるようになりました。

二つ目は、じゅぎょう中に自しんをもってはきはきはっぴょうできるようになったことです。とくにわたしは、算数のじゅぎょうの中で「はこの形」をがんばりました。面がいくつあるか、へんがいくつあるかなどをじっくり考えてはっぴょうできました。

また、クラス全いんが「まちがえても、だいじょうぶ。いっしょうけんめいべんきょうしよう。」と、思っています。林先生、毎日楽しいじゅぎょうにしてくれてありがとうございます。ほかのクラスの先生がたもいままでわたしたちをみまもってくれてありがとうございます。三年生になっても毎日楽しいべんきょうをしていきたいです。

【小学部代表】 5年１組 KH

私は、五年生で大きく学んだことが三つあります。

一つ目は、友達の輪をどうやって広げるかです。私は、はじめての人と話すのがとても苦手でしたが、忘れ物をしてしまった時に友達が貸してくれたり、休み時間に話しかけてかけてくれたりした事で、どうすれば友達と仲良くなるきっかけを作る事が出来るかを友達から学びました。

二つ目は、色々な個性や考えを受け入れることです。私は、よくふざけてしまったり大きい声で笑いすぎてしまったりする性格なのですが、いつも友達は優しく受け入れてくれました。一人一人には個性があり、それを認め合う事が大切だと知りました。友達の良いところをたくさん見つけ認め合い楽しむことにより、いじめも発生しないことが分かりました。

三つ目は、みんなと協力し合う事の大切さです。委員会や係で色々な企画を立てたりしましたが、みんなと意見が合わなかったり、勘違いしたりしてうまくいかないことがありました。しかし、お互いの意見を尊重し合い、話し合い、協力し合うことで物事がスムーズに進みました。

このように、私が五年生で学んだことはこれからの学校生活にとても大切な事です。六年生になっても周りの人に優しく声をかけ、どんな人も受け入れていける広い心をもちながら頑張りたいと思います。

【中学部代表】 １年Ａ組 KT

今日で今年度の授業が終わります。特に3学期はいろいろなイベントがありました。例えば、書初め会、提言フォーラム、音楽祭、現地校交流、１、２学期と比べても濃い学期だったと思います。その中でも、僕がつまずいたのが、音楽祭と現地校交流の準備でした。僕は二つの行事とも実行委員をしていたのですが、どの作業も完璧なものにできず、結局中二の先輩方にやってもらう形になりました。

また、提出期限が遅れてしまったこともありました。決して、二つの行事があったから時間的にできなかったわけではなかったと思います。僕は時間を効率的に使い、期限を守ることができませんでした。原因は時間を効率的に使えず、結果直前になって、大慌てになっていたということです。

僕はその問題が、他のことにもつながっていると思いました。もっと効率的に時間を使えれば、いろいろな提出物に余裕ができて、一つ一つのクオリティーも上がり、自分の能力を伸ばすことにもなります。また時間に余裕ができれば、僕の大の苦手な整理整頓も、することができ、なくしものが減ると思いました。特に僕は当たり前のこともまだこなせていません。しかし、僕だって来年は後輩ができます。その時に、今年の先輩たちのように、自分のやるべきことをこなして、後輩をフォローできるようにならないといけません。

明日から、春休みです。短く、二週間ほどしかないこの休みの中で僕は、自分の欠点を駆け足で修正しなければならないと思います。来年度には、立派な中学二年生になれるよう頑張ります。皆さんも、今学期で自分の欠点に気が付けたと思います。だから、来年度に生かせるように、一度思い返してみてはどうでしょうか。

図書ボランティアさんに感謝！ ～図書バーコード化実現～

今年度の図書ボランティアさんの献身的な努力により、長年の課題だった図書室の書籍バーコード化が実現しました。隔週の火曜日、早朝から来校していただき、小1から小4までの教室で、子供たちに合った本の読み聞かせをしていただきました。その際には、季節にちなんだ素敵な手作りのカードも用意してくださり、子供たちも毎回楽しみにしていました。

図書室の本の並べ方も工夫していただき、「フランスにきたら読んでおきたい本」などの、特集コーナーを設けていただきました。3学期の後半からは、図書委員会の子供たちによる、バーコードを活用した貸出・返却の作業もできるようになりました。図書ボランティアの皆様のご努力に心から感謝を申し上げます。

学校文集「マロニエ」第45号発行　～一人一人の確かな足あと～

学校文集「マロニエ」第45号が完成し、ご家庭にも配付しました。今年も本校に在籍した、ほぼすべての児童生徒の文章や、教職員からのメッセージが掲載されています。（編集の都合上、途中転入の場合、掲載できないケースがあることをご容赦願います。）

一人一人が本校で感じたこと、活動したことが、「確かな足あと」として文章の中に刻まれています。私事ですが、かつて勤務したクウェイト日本人学校でも、「マルハバ」（アラビア語で「こんにちは」の意味）という学校文集を作成していました。閉校になった今も、大切に保管していて、時々読み返したりしています。ぜひ、パリ日在籍の記念として、いつまでも大切にしていただけたらと思います。

各種表彰結果　～おめでとうございます～

《第 44 回　海外子女文芸作品コンクール》

・短歌の部　SAPIX　YOZEMIGROUP 賞　中2　HW／佳作　中3　HT

・俳句の部　優秀賞　小6　HT／佳作　小1　KH／佳作　中3　HK

《第47回「てのひら文庫賞」読書感想文全国コンクール》

・奨励賞　小1　KH／小2　SI／小3　NH／小5　AS　・佳作　　小3　NS／小5　UM

《第11回　日仏ロボットデザイン大賞》

・大　賞　　小3　KS　「はいたつスーシー」　・優秀賞　小3　OY　「シャルキュートリーロボット」

・入　賞　　小1　IA　「これどうですかロボット」

《第83回全国教育美術展》

・入選　小1　HE　／小4　KS　／中2　HA

完成！ PGPM“世界一大きな絵　パリ 2024”

「世界一大きな絵」がほぼ完成しました。まず、3月7日の朝のパリ日タイムに、全校で記念撮影をしました。その後、担当した学年ごとにステージ前で記念撮影をしました。H 先生、F 先生、撮影ありがとうございました。この後、4月以降に5枚の絵は一つに縫い合わされ、パリの日本文化会館をはじめ、多くの展示会場に飾られる予定です。詳細は後日お知らせします。

令和5年度末に帰国する先生方のあいさつ

～お世話になりました！ 帰国後もお元気で！～

○HH 教諭（教務主任） パリ日での3年間は、密度の濃い充実した日々でした。主に図工、美術の授業で全

校の子供達と関わりながら、いろいろなことに一緒に取り組めたことは、私にとってかけがえのない財産となりました。中学生との中庭リニューアルプロジェクト、開校50周年共同制作、そして、「世界一大きな絵2024パリ」共同制作。いつも、どんな時も子供達の素直で前向きな取り組みに、大いに励まされました。子供達、保護者の皆様、関わったすべての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。お元気で。さようなら。

○HM 教諭（小中学部統括主任兼中学部長） 3年間大変お世話になりました。この3年間は、学校に来るの

が楽しくてしょうがない毎日でした。子供たちの優しさあふれる笑顔に囲まれ、本当に幸せでした。ご家庭で温かく育てられた子供たちは、本当に素直で周りの人たちを幸せな気持ちにしてくれます。こんな素晴らしい子供たちを育てられた保護者の皆様に感謝し、少しでも私たち教員がその力を伸ばすことができていれば幸せです。3年間ありがとうございました。

○SS 教諭（5年1組担任） パリ日本人学校に来てあっという間の3年間でした。私自身、初めての海外の生

活で、着任したときはコロナ禍だったため、一週間自宅待機からのスタートで不安ばかりでした。しかし、海外で頑
張る素敵な子供たち、そしてグローバルの第一線で活躍されている素敵な保護者の皆様、パリ日本人学校の先生方と出会い、お陰様でフランスでの多くの学びと共に本当に充実した日々を送ることができました。関わったすべての人たちに感謝しております。今まで本当にありがとうございました。

○KH 教諭（4年1組担任） 令和4年度から２年間、大変お世話になりました。私がパリ日本人学校で過ご

した2年間は、日本では経験しないことがたくさんあり、子供たちと保護者の皆様の協力と理解があったからこそ、2年間成長し続けることができました。特に子ども達の挑戦する姿に日々心を打たれ、刺激をもらいました。私も先生として、もっとチャレンジしていこうと勇気づけてもらい挑戦し続けることができました。これからも、子ども達に『挑戦する大人の姿』を魅せていきます。私はチャレンジに溢れるパリ日が大好きです。2年間、本当にお世話になりました。
ありがとうございました。

本校サンカンタン校舎設計者 HR 先生 本校理事をご退任

本校のサンカンタン校舎を設計され、長い間、本校の理事をお務めいただいた、建築家の HR 先生が、この3月の理事会で、理事をご退任されました。90歳を超えられ、闘病と本の執筆に専念されるそうです。昨年度の50周年記念講演会では元気なお姿で、全校児童生徒にご講演をいただきました。

ご退任にあたり「日本人学校の建築物に関しましては、生命のある限りご相談に応じたいと思っております。」というお言葉をいただいております。長い間ありがとうございました。

“特集”開校 50 周年記念　～パリ日の「宝」～第２部

【第１０回】（最終回）「パリ日５０年の絆」

卒業式で、６年生最後の OM さんの証書番号は１４８２番。中学部の最後、IK さんの番号は８２３番でした。小・中合わせると、約２３００人ですが、実はこの他にも、卒業までは在籍していませんが、本校で学んだ仲間は、この数倍もいるはずです。

また、この５０年間で本校に勤務した教職員は、およそ３００人以上です。パリ日本人学校によって結ばれた、これら何千もの「絆」。これこそが、これまでも、そして、６０年、７０年、１００年の後もずっと、パリ日の「宝」として、輝いていくことでしょう。（了）